



題字 遊びをせんとや生まれけむ 揮毫 松山市石井小学校教頭 沖田 義朝 解説は3面



発行所 (財)愛媛県教育会
〒790-8545 松山市祝谷町1丁目5-33
エスボウル愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
URL <http://www.chime-kyouikukai.jp>

- (2) 学校紹介 新居浜市立西中学校
- (3) ふるさとに生きる
- (4) 旅・たび
- (5) 旅・たび
- (6) 日連教員大会印象記
- (8) ふるさとスケッチ
- ローカルトピックス

伝えること 繋ぐこと



元松山市教育委員会教育長

土居 貴美

「どん尻のされど皆勤卒業す」
そんな教師になりたくて中学校に勤めて以来、社会教育、女性教育、教育行政等にも関わり、学びの多い日々であった。

現職生活を終えたとき、これから「人生の正念場」であり、「多くの方々からいただいた心の財産を返す時」と考え、できる範囲で「伝えること、繋ぐこと」を行動に移すことにした。
丁度そのころ、NPO法人和田重次郎顕彰会の会長としての活動の場に出会い、「返す場」の一つが見つかった気がした。

和田重次郎は、明治八年周桑郡小松町に生まれ、四歳で父を亡くし、温泉郡素鷲村(現松山市日の出町)で十七歳まで育った。しかし、貧富による差別など、自由に生きられない日本に見切りをつけ、アメリカに向かう。密航がばれて捕鯨船に売られるなど苦労を重ねるが、そこで身につけた語学や地学、計器の使用技術、強い精神力などが、アラスカに降り立ち開拓者として、冒険家として偉業を成し遂げる彼の日々の力となる。
顕彰会会員は、彼の足跡を知るべく、アラスカを訪ねた。極寒の地アラスカでの彼の生活は、想像を絶するもので

あっただろう。しかし、我々が見たオーロラや夕日に染まるマッキンリーの美しさなど、大自然の魅力が、彼の苦しい生活を支えたのかもしれない。アラスカの十日間には、著名人とのレセプション、市長訪問、大学訪問、市民との交流などを通して、彼の残した偉業を確認できた。その偉業や人物像などが、愛媛県内の人々にあまり知られてないことを思うと、本顕彰会活動の責任を感じる。

顕彰活動の主な実施イベントには、日の出町の顕彰碑建立、ミュージカル(みかん一座)、キング和田自然教室(県委託理科教室・県下十一校)などが挙げられる。今後も活動の充実を図り重次郎を広く「伝えて」いきたい。

「繋ぐ」活動としては、フェアバンクスと松山市の学校間交流、松山市とアラスカの市民間交流を新たな実施活動計画に加え、各方面の方々のご協力を得て、実現に向かいたい。

- 一略 歴一
(どい・たかみ)
- ・神戸森女子短期大学卒業
 - ・中学校教諭 校長
 - ・愛媛県教育委員会社会教育主事
 - ・愛媛県女性局長係長、局長
 - ・小学校 校長
 - ・松山市教育委員会 教育長
 - ・松山市味酒公民館 館長

響き 聞

四年に一度のスポーツの祭典、オリンピックはロンドンで開催されたが、日本の活躍は素晴らしくメダルの獲得数三十八個は過去最高であった。あの時の歓喜と感動は今も鮮明に残っている▼その後、開催されたロンドンパラリンピック。障害を乗り越えて夢を追い続け闘っている姿は、見る者に深い感動を与えてくれる。その中でも、二連覇という偉業を成し遂げた車いすテニスの国枝慎吾選手の活躍ぶりは圧巻であった▼彼は、今年二月に痛めていた右肘の手術を受けた。逃げ出したくなるほどつらいリハビリだった」と振り返っているが、それを乗り越えての快挙だった▼大会前にコーチは「パラリンピックという聖域で通用するのは、自分を最後まで信じ抜ける力。障害のある選手が、普通ではない場所、そこで普通でいられる人が、表彰台に上られる。」と語っていた。この日の彼は、朝起きた時から落ち着き払っていた。だから、普段どおりのプレーができたのである。

ひとこと

仏海上人の足跡を辿って



愛媛県教育研究協議会 副会長 奥田 和司

その後四国八十八ヶ所を二十一度廻る巡拝を成就する。この体験が、仏海の後半生を決定する。

四国八十八ヶ所の巡礼者にとって、阿波の葉王寺から土佐の室戸に至る道は最大の難所である。急峻な山が海まで迫り、海岸の荒磯には太平洋の波が打ち寄せる。付近に村もなく、ここを行く者は磯を岩伝いに進む外なかった。

この難儀を少しでも救おうと、仏海はここに接待所を構え、遍路のもてなしに尽くした。

六十歳にして、入来(ゆるぎ)という所で、生きたまま土中に入り、入定した。そこが今日「仏海庵」と呼ばれ、近郊の人々に守られている。

この夏、車で片道六時間かけてこの地を訪ねた。墓に詣り、彼の人生に思いを馳せるとき、子規は「伊予の国第一の豪傑」と一遍を称したが、仏海もまた、それに劣らぬ豪傑であったとの思いを抱きながら、庵をあとにした。

(松山市立北条北中学校長)

松山市の立岩地区に「木食庵」と呼ばれている小さなお堂がある。木食とは、文字通り米や麦を食さず、木の実草の根を主食とする修行僧のことで、この地出身の「木食仏海上人」が祀られている。彼は十三歳のときに感じるところあって、家を出て諸国を廻り、仏教の修行を始める。この行程は、東北から北陸、近畿、中国、九州まで全国に及び、道中では仏像三千体を刻んで各地に残している。四十歳で故郷に帰り庵を結ぶが、これが今に伝わる「木食庵」である。しばらくはここに留まり、近隣に仏像を配ったり、霊場の整備をしたりしていたが、

学校紹介

No.433

新居浜市立西中学校

集存

本校の正門を入るとすぐに高さ4mのモニュメントが建っています。五枚の異なる形の鉄板が前後左右に広がり、空に向かって限りなく伸びていくようなフォルムです。

この彫刻は、昭和四十七年、西中学校の創立二十五周年を記念して、国際的に著名な抽象彫刻家森堯茂先生により製作されたものです。台座には、「集存」とタイトルが刻まれています。

「集存」には、「ぐんぐん伸びよ、そしてお互いに助け合ひ、認め合ひ、高め合つてすばらしい学級、学年、学校をつくろう」という呼びかけの意味が込められているのだそうです。

本校は、昭和二十二年四月に開校、今年で六十五年目を迎えます。歴史的に見ると、別子銅山との関わりの深い学校です。

別子銅山は、元禄三年の大露頭の発見後、住友家が二八九年の長きにわたって開発を進めました。現在も、本校区には、住友関連企業の工場群があります。また、別子銅山の隆盛期を偲ぶことができる産業遺産も点在しています。

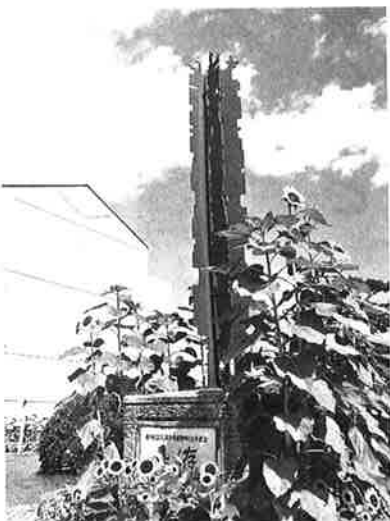
そのようなこともあって、本校では、「別子銅山について」学ぶ『ふるさと学習』に取り組んでいます。一年生では、東平の「銅山の里自然の家」に宿泊し、野外体験学習

を行います。旧別子から銅山越え登山をして、東平の里におり、そのルートにあるダイヤモンド水や小足谷劇場跡など、旧別子地区が栄えた当時を思いながら産業遺産を巡ります。次の日は、端出場のマイントピア別子、別子銅山記念館などを見学します。本年度は、土砂崩れのため、予定していたことすべてを実施することはできませんでしたが、生徒のよい思い出づくりになりました。

本校では、『ふるさと学習』の他、生徒の自主的組織であるNSDC(西中差別をなくす会)の活動や『食育』の推進など、特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいます。

今、校内では、ひまわりが満開です。その中にモニュメントが天を指して伸びています。西中生も「集存」の誓いを胸に、仲間と共に切磋琢磨しながらぐんぐん成長していきます。

(校長 神野 康一)



本校では、「別子銅山について」学ぶ『ふるさと学習』に取り組んでいます。一年生では、東平の「銅山の里自然の家」に宿泊し、野外体験学習

(校長 神野 康一)

題字に寄せて

遊びをせんとや生まれけむ
生まれけむ



石井小頭 義朝
松山市教 沖田

「遊びをせんとや生まれけむ
戯れせんとや生まれけん
遊ぶ子どもの声聞けば
わが身さへこそ動がるれ」
これは後白河法皇が編さん
した『梁塵秘抄』という平安
時代末期の歌謡集に載ってい
る歌です。

解釈は様々ありますが、私
は「遊ぶために生まれてきた
のだろうか、戯れるために生
まれてきたのだろうか、遊ん
でいる子どもの声を聞いてい
ると、私の身体さえもうずう
ずして動いてしまう」という
意味にとらえています。
今、石井小の子どもたちの
元気な声が聞こえています。
私の体もうずうずし始めてき
ました。

ふるさとに生きる

日々坦々と



河本 坦先生

多趣味で、ご退職後も多方
面にご活躍の河本坦先生にお
話いただきました。

問 ご退職後、どのようにお
過ごしですか。

答 世のため人のために役立
つようなことは、何一つし
ていません。

五十歳の時、もう少しで
毎日が日曜日になる(六十
歳)ので、興味・関心があ
ること、何をしようかと
書き抜き、ほとんど消し、
五つ残しました。

それを俳句で表すと(太
字)、次のとおりです。

① 虫を詠む

一茶の句より筆始

② 打碁して

用なき余生冬紅葉

③ 蟬の声

遠のきにけり天守閣

訪問者

平井 則明

(西条市立西条小学校長)

河本 千恵子

(西条市立神拝小学校長)

④ 雪上に

俳句書き合ふ出逢ひかな

⑤ 桜散る

市紋章のマンホール

毎日が日曜日の今、好き
なことをして、坦々(たん
たん)と過ごす日々です。
炎天に

歩み遅々たる齢かな

問 退職後の過ごし方は、現
職の時から準備期間が必要
ですか。

答 そうでもありません。

退職後、別れ別れになる
のは残念と、毎月一回、『飲
み会』をし、百六十五回目
の席上、あるお方は、「七
十五歳にして、句作を始め、
自然や暮らしぶりを見る目
が変わり、感動が生まれ、
俳句が生きがいになってい
る。」と言っていました。

生きがいの

問 これからの生き方をどう
お考えですか。

答 退職後、十四年間、自治
会、趣味?の同好会、教育
会等で多くの貴重な体験を
させていただきました。そ
の中で、昔の職場の先輩・
同僚との絆が今も生きてい
ます。

独特の風格と見識をもた
れて、聡明で謙虚に懐深く
振る舞われているお姿に敬
服し、私もそうありたいと
願っています。

白寿翁確と摺り足能始
のような先輩の生き方が私
の夢です。

なお、ご自分の生業で
あった担任教科や卓越した



旅行中、小野哲太三段との対局
-携帯用碁盤の『鹿皮』に注目!-

事務能力を生かし、古文書
解読、書道、美術、音楽、
花づくり、健康づくり、読
み聞かせ、組織運営等に、
一意専心で取り組まれて顕
著な業績をあげ、地域の生
涯教育に寄与されている元
教職員であられた先輩・同
僚の方々よりバイタリテイ
を吸収し、生き抜く糧をい
ただきたいと思えます。

夕靄の棚田耕す老闘牛
数学科担任だった私自身
は、生かすべきなものも
なく、
学成らず減量ならず更衣
ですから。

またこれからも、ご高配
ご教示を賜っている方々
に、感謝を込めて、大阪の
職人に特注した、『一茶の
焼印』を押しした『一茶の
焼印』をつくりたいと存じます。

(註) 焼印の一茶が目玉蒸饅頭
生、ご自作の句。

本日は、率直なお話を聞か
せていただき、ありがとうございます。
今後とも、ますますお元氣
でご活躍ください。

河本 坦先生 (74歳)

(西条市神拝在住)

特集 旅・たび

水曜どうでしょう



中市長 西長 毅迅
今治校 真鍋

初夏の郷照寺参道。強情な人のかっこうをして写真をとった。何をしているかがわかった巫女さんに笑われた。

さて、『水曜どうでしょう』は北海道テレビで大泉洋さんがまだ大学生の時にスタートした深夜の旅番組である。その中の罰ゲーム『四泊五日で巡る四国八十八ヶ所の旅』は痛快だった。大泉洋さんは至る所でお寺の名前にちなんだコントを披露した。『栄福寺』では着物をひるげて、「ええ服じ(ゃ)」……。まねをしたのが冒頭。こんな姿をデジカメに収めながら八十九ヶ所を一泊八日で巡った。なぜ八十八ヶ所でないかは、三十番は二つあったからというのも旅

のおもしろさかもしれない。

また、旅の楽しみは旅自身だけでなく、食べ物にもある。『四泊……』では甘い物好きのディレクターが途中で鳥坂まんじゅうを買った。車中、三十五個を三人で五分もかからず平らげた。その姿を見て、次の休みには鳥坂まんじゅうを買いに香川へ車を走らせた。

ところで、この旅に出るときはこんなことも考えていた。それは、「八十八ヶ所の旅は死に旅ではないか。」ということ。かつては、病気の体を隠すため、食い扶持を減らすため旅に出たのではないか。だから終着点はない。どこで死んでも迷惑をかけないよう白い死装束を着て巡る。そう思うと苦しくて、あの装束は身につけられなかった。それなら観光と割り切り、私服で楽しむことにした。しかし、同時に「いつかは……。」とも思った。

私と旅



南宇和教育会
OB
中尾ワキ子

旅は日帰りであれ、泊付きであれ、日程が決まった時から何となく心が弾んでくる。外国旅行の場合、まず訪ねる国の旅案内の本を買い下調べをして、どんな所か思いを巡らす。十日余の着る物や持参品をあれこれ考え準備している

と旅への期待も高まる。体力のある間にと、ヨーロッパの国々をほとんど回り今年はトルコを旅した。異国の文化や風景、人や食べ物等、子どものように興味津々で旅を楽しむ。帰ると記憶の薄れない内に、旅の記録を残すためにパソコンに向かう。旅行中、手帳にメモした日記や感想を頼りに、写真をいっぱい挿入したA4二十ページ余の旅日記を仕上げる。時を経て読んで

も懐かしく思い出される。先日、テレビの旅番組でノルウェーのフィヨルドを見た。私の旅の中でも一番心に残る風景で、北欧の旅日記の表紙を飾っている。カラフルな木造家屋の並ぶベルゲンから北へ、ネーロイフィヨルドをフロムまで二時間の船旅は、海の深い青緑、それを挟む切り立った山、頂に残る雪、それらが海面に映って息を呑む美しさだった。海辺の斜面にポツンポツンと五、六軒の赤い屋根の集落があり、それもまた絵本を見るような風景だった。この子どもたちは、どんなにして、どの学校へ行くのだろうか、ふと心配したことを思い出す。旅はしばし日常を離れて心豊かに過ごし、今少しがんばって生きてみようかと意欲が出てくる不思議さがある。

復活！職員旅行



山立岩小
市長 城本すみ江

私が教員になった頃はどの学校でも職員旅行に出掛け

ける学校も参加する先生方も減っていると聞く。私の勤務校立岩小学校では平成二十二年度に職員旅行が復活した。旅行の目標は、寝食を共にし、お互いを理解し、チーム立岩の組織力をアップすること。

平成二十二年の夏は全員で岡山へ日帰り旅行。ワインを堪能し、閑谷学校、後樂園へ。木陰がほとんどなく、汗を拭き拭きの猛暑の中での後樂園探索：あの極暑はずっと忘れられない思い出だ。

平成二十三年の夏は北海道へ。申し訳ないが留守番を日直の先生にお願いした。ファミリーでの参加も大歓迎！皆の一番のお目当ては旭山動物園だ。敷地は広くないが上野動物園を押さえ入園者数日本一になったのもうなずけた。魅力満載である。小学生から最年長の私までの賑やかな珍道中であったが、北海道の大自然と海の幸・山の幸を満喫し大いに盛り上がった。今年の夏は韓国へ。給食調理員さんや学校図書館運営支援員さんともご一緒できた。竹島問題が勃発する直前の旅

行だった。世界遺産の昌徳宮

(チャンドクン)・水原華城(スウォンファンソン)等を巡り、韓国の文化や歴史に触れ、日韓の様々な負の遺産も目の当たりにした。南大門市場では大好きなグンちゃんグッズを、免税店では化粧品とブランドの靴をゲットできた。韓国料理に舌鼓を打ち、中でもアワビのお粥朝食は絶品だった。某旅行会社のキャッチコピーではないが、旅の数だけ物語がある！

ペンギンの会で 全国ツアー



大洲教育会OB
小澤 功

人間ペンギン踊りを見たことがあるでしょうか。私が見たのは平成二年三月。国立教育会館つくば分館で一か月の研修の最終日。慰労会で若い先生がペンギン踊りを披露して大喝采を浴び、同窓会の名称を「つくばペンギンの会」と決めて年一回会うことにな

なった。

第一回は弘前で、その後、岡山、箱根、名古屋、大分、東京、福島、彦根、筑波、松山、高崎、山口、日光、宮崎、箱根、鳥羽、弘前、東京、神戸、別府、京都と続き、今年十一月に福島県会津若松市で開催される。

年一度、一晚の宴会で旧交を温める。そして、翌日から近県にも足を延ばして絶景散策となる。今では家族ぐるみの参加となり、皆で和氣藹々と全国各地を回っている。

恐山で見た三途の川、潮岬から見たダルマ夕陽、富山湾展望台から見た雪を頂いた雄大な立山連峰、富岡製糸場等々が思い出される。

旅は単に名所旧跡を訪ねるだけではなくおいしいものをたっぷり食べ、その土地の風土や人情に触れることにより、心の贅沢を味わうこともできる。

わずか一か月間の、偶然に集まった二十名の研修仲間が二十年以上も親交と全国ツアーを続けることになろうとは思ってもみなかった。こうし

てツアーを楽しめるのは、「つくばプリズン」と怖れられた

英語づけの中央研修に耐えた褒美だと思っている。今年も円熟したペンギン踊りが見られるかもしれない。

モスクワの地下鉄



小志市温東
教諭 土岐 誠子

日常生活から全く離れて違う空間に自分を置くことができるので旅は好きです。

モスクワは日本のように湿度が高くなくて、最高気温も二十五、六度でした。町の人々は日焼け対策のようなこと(ぼうし、日傘、スカーフ)をしないようです。日差しを気にしていたのは私と中国人観光客くらいでした。

二日目に日本語ガイドさん付きでクレムリンを観光しました。現在も政治の中心で、大統領が勤務しているという建物も見えました。ロシア正教の古い協会がタマネギ型の屋根を光らせていました。

地下鉄は、モスクワ周辺を観光するなら大変便利な乗り物だと思います。チケットは回数券もあり、松山の市内電車のように距離に関係なく、一回分の料金で行けます。五回の回数券で百三十五ルーブル(約四百円)でした。また、電車は一分ごとに来るので待つことはありません。ただ、地下鉄なのに上の窓が開いていてかなりの騒音でした。そのせいか、読書をするか、音楽を聴くか、という感じで車内の人々は静かです。

もう一つの特徴は、駅構内の美しい装飾です。古くは第二次世界大戦の頃に作られた駅もあり、兵士の像が柱の近くに造られていたり、彫刻を施した街灯が通路の中央に建てられていたりして、美術館にいるような雰囲気でした。娘と二人で、地図を見ながらのてくてく旅でしたが大きなトラブルは無く、その土地で生活している人たちの目にし、自分のこと・日本の社会のことを考えるいい機会になりました。

学校生協組合員の皆様へ

青山カード会員ご入会のおすすめ

洋服の青山：会員特典10%引きになります。その他特典もあります。

お問合せは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
又は、郡市学校生活協同組合

いよてつ高島屋ローズカード ご入会のおすすめ

- 商品(特別奉仕品・生鮮食品等の割引対象外商品を除く)を5%引きでご購入いただけます。
- 売場奉仕品、優待会、カタログ、通信販売の商品は2%引きのお支払い。(一般カードは割引なし)
- お中元・お歳暮の期間中“外商常得意様承りコーナー”にて推奨品に限り、推奨価格(10%引き)で購入できます。

ご入会の申し込み及びお問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
又は、郡市学校生活協同組合

第64回日本連合教育会 研究会 呉大会 印象記

◆第二分科会 (学習指導)



小井井小 今治市教 田邊 正憲

第二分科会では、「正しい日本語が身につく国語教育のあり方」を協議題として、三つの提案発表とそれを基にした協議が行われた。

呉市教育会からは、「ことばの力」を生かして、豊かに表現する児童の育成をテーマとした発表があった。表現力を育成するための様々な取組の中でも印象に残ったのが、音読指導と国語辞典の活用である。実践内容は、「一音一音はつきり読む」というポイントを押さえた音読指導や発表の場の工夫と一年生から一人一冊国語辞典を持たせ辞典を引くことを習慣化させる指導等である。その成果として児童に主体的に読む・書く・伝える力が付き、日常生活

に生きて働く「ことばの力」となっていた。

滋賀県教育会からは、「高め合い活動」を通して、筋道立てて文章を書く力を育む指導の発表があった。中学生の時期は、自分自身をうまく表現できず、書いた文章に自信を持ちにくいという課題意識からの取組であった。友だちとのかかわりを大切にしながら活動を取り入れ、自分の考えに自信をもち、書く楽しさを感じながら分かりやすく書きまとめる力を身に付けさせることをねらった実践である。「課題設定」「取材」「構成」「記述」「推敲」「交流」それぞれの学習過程における「高め合い活動」を工夫した結果、ほとんどの生徒が書くことに対して難しさを感じなくなったという成果が発表された。

愛知県春日井授業研究会からは、相手や場にに応じた言葉遣いへの意識が育つ敬語学習の実践発表があった。「言葉の乱れは心の乱れにつながる」という危惧から、日頃何

気なく使っている言葉に目を向けさせ、正しい言葉を身に付けさせる中で、よりよい人間関係を築くことができる児童を育てることをねらいとする実践であった。敬語を使って手紙を書き直すという六年生の学習、相手に応じて丁寧な言葉を使うことへの意識を育てる一年生の学習が印象に残った。

三つの提案発表と協議を通して、学習・生活両面での基盤となる「ことばの力」を育成することの大切さを改めて感じた。「効果的な方法を発達段階に合わせて指導する」というご助言を念頭に置き、指導に努めていきたい。



◆第五分科会 (環境教育)



西野小 松野町校 上 茂利

進(地域に学び、環境を保全・創造する児童生徒の育成)を協議題として、三つの提案発表が行われた。

栃木県連合教育会の日光市立落合中学校は、里山環境整備活動(緑が丘活動)を通して、持続可能な社会づくりにつながる環境学習に取り組んでいる。間伐で出た廃材を利用し、建築用材、薪、炭をつくり、枝はチップにして遊歩道にまいたり、クラブに利用したりしている。その結果、子どもたちが環境問題への関心と改善への意欲を持つことができるようになった。

茨城県教育会のつくば市立竹園東中学校では、つくば市全体が小中一貫教育完全実施となったこともあり、つくば市すべての学校で、系統的な単元構成による「つくばスタイル科」を設置し取り組んでいる。その結果、「つくばスタイル科」の基本方針に基づいてカリキュラムを作成することにより、自然との調和を考える児童生徒の育成につながるかと考えている。

呉市教育会の呉市立長迫小学校は、環境のための地球規模の学習および観測プログラム(グローバル)の指定を受け、毎日気象観測を行い、校内テレビ番組「長迫お天気ステーション」で毎日、給食時間に放送している。その結果、天気に関心を持つ児童が増え、発表力や学習意欲の向上につながっている。

指導助言者からは環境教育を行う上での五つの視点、「持続可能な社会の構築を目指す。」「学校、家庭、地域社会等と連携する。」「発達等に応じて内容や方法を工夫する。」「地域の実態から取り組む。」「消費生活の側面に留意する。」「等の指導助言があった。

参加者からは終始、活発な質問や意見が出され、環境教育を行う上での、地域社会や家庭との協力のあり方について参考になることが多くあった。

呉市やつくば市では小中一貫教育が推進されており、その利点についても話があった。これからの方向を示しているように感じた。

若い先生方が多く参加されている教育会もあり、本県においても若い先生方の積極的な参加を期待したい。

第五分科会は「人間と自然が調和する『環境教育』の推

◆第七分科会
(幼児教育・保育)



小川美町原高久
芝 毅

海事を巡る独特な文化的土壌と市民による市民の教育行政に支えられた呉市で、第十四回日本連合教育会研究大会が開催されました。呉市で初の記念すべき大会が開かれたことは、とても感慨深いものがあります。愛媛県教育会から参加した田鍋理事長をはじめ六十一名を含めて八百余名が全国各地から集い、「元気で明るく賢い子どもを育む地域の絆・教育力を培う」の大会主題の下、熱く教育を語り合うことができました。

スに、知りたい心(好奇心)、創りたい心(匠の心)、行きたい心(冒険心)の三つの心を教育で育むことにより、宇宙開発は進んできたとお話しされました。そして、子どもの心に火を付ける教師こそが望まれるという強い願いが込められた講演でした。このことを現場で伝えようと考えるところが躍りました。

◆第八分科会
(特別分科会)



山形市教育会
OB
松田 邦雄

「大和ミュージアムで
平和を考える」

平和を考える分科会テーマは、私の興味・関心を強く引き付け、大きな期待感をいだいて大会に臨んだ。

長崎市立山里小学校長より「長崎の地から平和を発信し続けて」―被爆校・山里小学校の教育活動紹介―と題して発表があった。

◎研究校の概要

爆心地から五百メートルの位置にある学校付近はほぼ全滅状態で千五百名の児童の内、千三百名が亡くなった。校内に被爆遺構や関連施設があり、学校・地域が多くを学べる環境にある。

このつらく悲しい事実の上立ち、六十七年間「平和教育を柱」として歩んできた長

崎における平和教育のシンボリックな学校の一つで、毎年全国各地から十万人を超える人が来校されている。

◎実践の概要

一 平和教育の進め方
学年の発達段階に合わせて五段階を設定し、指導の場や内容を工夫する。

- 一段階 事実を理解
- 二段階 自分の考えを持つ。
- 三段階 思い・願いの表明
- 四段階 生活にいかす。
- 五段階 奉仕作業

二 平和教育の実践例

- ア 平和ウォーク
- イ 集会・式典等への参加
- ウ 被爆の聞きとり
- エ 資料を活用した平和学習
- オ 平和ノート学習した資料をファイルする。
- カ 「やまざと」の合言葉
- キ 奉仕活動
- ク 情報発信ホームページ

◎成果と課題

- 一 伝統となり、根付いた。
- 二 コミュニティスクール
- 三 効果的な指導の実践に向け見直し

続いて、大和ミュージアム(呉市海事歴史博物館)の実践が発表された。戦艦大和に始まり戦争に係わる資料が平和教育にどのように協力・貢献できるか、事例を挙げて紹介された。博物館はゴールではなく、子どもの「心に火をつける」のが役目で、ここより深め広げて、実践に発展させる所と力説された。日本全国から毎年百万人を超える来館者があり、今後も来館の目的・悩み・課題に依っていきたいと締めくくられた。

協議では、貴重な歴史を生かし、学年に応じた実践、保護者・地域と共同してのコミュニティ・スクールの実現をされている山里小学校に多くの質問や感想があった。

助言者より、「平和教育は数学のように答えは一つではない、いろいろの答えがあつていいのではないか」と平和教育の中核を示唆された。



第3分科会発表
(愛媛県)

ふるさとスケッチ

No.350

ヤマボウシの花咲く

諏訪崎



八幡浜市神山小学校長 石河由美子



八幡浜市の市街地から海岸線を南に向かった所に、全長約三キロメートルの小さな岬「諏訪崎」があります。岬の先端からの景色は素晴らしく白く輝く魚霊塔を望むことができます。先端にたどり着いた時、造園業のご夫婦が五歳のお孫さんをつれて仕事にいられているのに出会いました。ご主人が、「ここには、桜から始まって数えきれないほどの花が咲きます。今年もヤマボウシの花が、きれいでしたよ。」と言われました。六月頃に咲くというヤマボウシの花を、来年

桜から始まって数えきれないほどの花が咲きます。今年もヤマボウシの花が、きれいでしたよ。」と言われました。六月頃に咲くというヤマボウシの花を、来年

ご冥福をお祈りします

Table with 4 columns: Name, Age, Address, Date. Includes names like 加地悦夫様, 中崎忠雄様, 青野徹様, etc.

はぜひ見てみたいと思いた。

ローカルトピックス

三坂峠

「三坂越えすりや 雪降りかかる 戻りや妻子が 泣きかかる むごいもんぞや 久万山馬子は 三坂夜出て 夜戻る(以下略)」と、「三坂馬子唄」にも唄われてきた三坂峠(標高七二〇m)は、上浮穴と松山を結ぶ街道の途中に立ちただかる昔からの難所でした。また、松山平野や遠く瀬戸内海の島々を一望できる絶好の場所でもあります。



三坂峠から松山平野を望む

所を通過してしまいます。その度に、安全で快適なドライブと時間短縮の便利さを実感します。

しかし、たまには、ゆつたりとした気分が旧道に車を走らせ、三坂峠からの絶景にしばし心をときめかせ、先人の苦勞に思いを馳せるのもお勧めです。

文教月報編集協力委員 高崎 和夫 (久万高原町立交三峠小学校長)

祝 受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

- 石田 禎作様 88歳 元新居浜市立高津小学校長 新居浜市
平野 幸雄様 88歳 元北条市立正岡小学校長 松山市

ぶんきょうの 忘年会・新年会

メニューもますます充実
ご予約は、皆様の会館



エスポワール文教会館 電話(089)945-8644
ファク(089)932-0380

足跡をつづる、私を記す、形に残す。
あなたが主人公のドラマを未来に伝えます。

本づくり 応援キャンペーン

規格・裁丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提示
原稿作りのアドバイス ●予算のお見積もり ーその他、ご相談承ります。ー

SEKI セキ株式会社

TEL (089)945-0111 FAX (089)947-6073
TEL (03)3377-1230